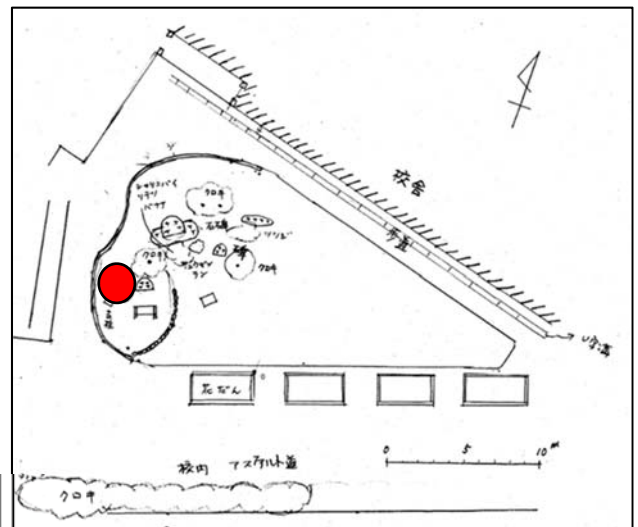


### 糸満小学校のガジュマル(マンモス)



認定番号 96

樹種名	ガジュマル	科名	クワ科	方言名	ガジュマル	学名	Ficus microcarpa L.f.						
形状・寸法	樹高 10.8 m	胸高周囲	6 m	根本周囲	5.8 m	樹幹占有面積	177 m <sup>2</sup>						
	枝下高 2 m	枝張	東 11 m	西 9.9 m	南 12.7 m	北 9 m	最大樹冠幅 15.0 m						
通称	マンモス		樹齢	150 年(推定)		所有者	1 国 2 県 3 市町村 4 その他公有 5 社寺 6 個人 7 会社 8 その他民有 9 不明 備考:平安座自治会所有						
所在地	糸満市字糸満673					状況	1 単木 2 樹叢中 3 樹林中 4 その他						
立地場所	1 公園 2 庭園 3 個人の庭・屋敷 4 公共施設 5 学校 6 神社寺院 7 拝所 8 市街地 9 街路 10 その他						気象条件	月	1月	2月	3月	4月	5月
保護制度	1 国指定天然記念物 2 県指定天然記念物 3 市町村指定天然記念物 4 景観重要樹木 5 保存樹 6 名木 7 その他 8 なし					(最寄りの7マス*1マス)		平均気温(°C)	15.3	16.1	16.7	19.1	21.9
	周囲の状況	1 樹林 a 大面積山林 b 小面積山林 2 芝地 3 耕地 4 建物の間 5 道路 6 河川 7 湖沼 8 その他 ( )					地点:糸数	降水量(mm)	42.5	268.5	220.0	105.0	416.5
土地傾斜		1 平坦(0~5°) 2 緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) 傾斜方向:						2014年	平均風速	5.9	6.1	6.0	5.4
	土壌	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ( )					年平均気温		21.3 °C		最高気温 32.6 °C		
基岩・母材								年降水量	2302.5 mm		最低気温 9.1 °C		
	地形	1 山地 2 丘陵地 3 台地 4 平地 5 尾根 6 中腹 7 谷 8 窪 窪 9 カルスト 10 埋め立て地 11 海岸段丘 12 その他					潮風の影響		1 なし 2 ややある 3 ある 4 やや強く受ける 5 強く受ける(特記)				
土性		1 砂壤土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない					日照条件	1 良い 2 普通 3 やや不良 4 不良					
	根元及び周囲の植生	草本 1 密生 2 疎 3 なし 低木 1 密生 2 疎 3 なし					周辺樹木の影響	1 なし 2 わずかにある 3 ある 4 かなりある 5 深刻((状況))					
管理状況		1 柵 a 有 b 無 (有の場合の高さ 0.2~0.7m、材質(コンクリート) 柵内面積( 41 m <sup>2</sup> ) 設置年 2 支柱 a 有 b 無 3 剪定 a 強 b 弱 c 無 d 枝折等の都度処理 4 施肥 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類 ) 5 薬剤散布 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類 ) 6 解説板 a 有 b 無 7 避雷針 a 有 b 無 8 定期的な草刈・掃除 a 有 b 無 9 その他					周辺根元の状況	1 土壌の固結がなくきわめて良好 2 固結はあまりなく概ね良好 3 固結している a 踏圧あり b 踏圧なし					
	過去の治療歴と内容	治療の痕跡は認められない。											
故事来歴	1 無 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 b 無 5 いわれの内容 6 不明												
視認性	1 遠方からも目立つ 2 近くに行けば見える 3 直前まで見えない 4 敷地内にはいるとよく見える 5 敷地内に入っても見えない (理由 )												
特記事項	1 動物生息 a 有 b 無 (有の場合動物の種類 ) 2 着生植物 a 有 b 無 (有の場合植物の種類 トベラ ) 3 見学・参観者 a 有 b 無 (有の場合その数) 4 その他 生徒・父兄等												

地上部の衰退度判定（認定番号96）

評価項目	評価基準				
	0	1	2	3	4
1 樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2 樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3 枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、ショウガ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4 梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5 下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6 大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7 枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8 葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9 樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10 樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11 胴吹き・ひこばえ	枝は量が多く胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き、ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度 = 各項目の評価値の合計 / 11 (評価項目) = 0.82

衰退度判定基準

衰退度区分	I	II	III	IV	V
		0.8未満 良	0.8~1.6未満 やや不良	1.6~2.4未満 不良	2.4~3.2未満 著しく不良

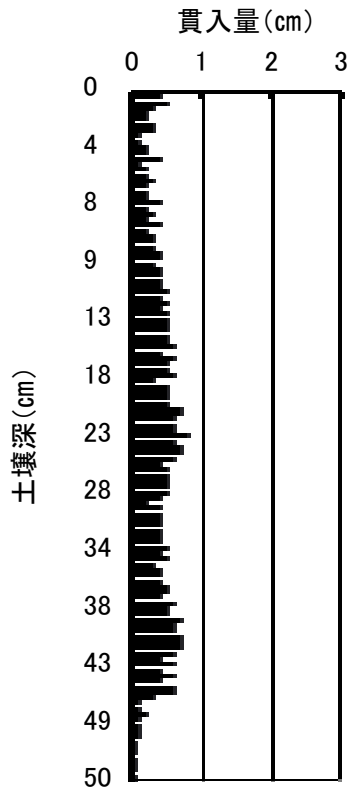
倒木・枝折れ等危険度判定

項目	判定			
	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係	○			
根返り	○			
幹折れ	○			
大枝折れ			○	
中・小枝落下		○		
幹の傾斜の増大	○			
その他( )				

土壤調査結果（認定番号 96）

層位	土壤色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)
I	7.5YR4/3	0-12	カベ状	埴土	7.7	2.3
II	7.5YR4/4	12-37	-	埴土		
III	7.5YR4/6	37-	-	重埴土		

土壤貫入量結果



部位	所見	対応
土壌	・固結している。	・踏圧防止のため、柵内へ立入禁止を検討する。
根	・地際部の貫入異常は認めないが、踏みつけによる傷痕部が多く、一部腐朽が見られる。	・露出根を踏みつけないよう、木登り禁止を検討する。
幹	・下部にイチジクカミキリの産卵加工痕があり、樹液の垂下が認められ、若齢の幼虫が生息していると思われる	・樹皮の上から木槌で叩き殺すか、樹皮を剥いで駆除することを検討する。
	・上部から垂下する気根が発達してできた支柱根のほとんどが切断され、不安定な樹形になっている。	・将来にわたって安定した樹形を保つため、腐葉土を詰めたパイプ等を設置し、気根の誘導を検討する。
	・西側の支柱と接触する根が切断され、腐朽が認められる。	・腐朽部の切除、殺菌癒合剤の塗布を検討して不定根の発生を促す。
枝	・大枝基部の切断面にシロアリの食害痕が認められる。	・腐朽部の切除、殺菌癒合剤の塗布を検討する。
	・高さ 2.5mの部位の枝にカミキリの脱出孔が見られる。内部は腐朽していると考えられる。	・詳細な調査が必要。落枝の可能性がある場合は切除するか支柱の設置を検討する。
	・南に張り出した中枝に腐朽が認められる。折損、落下の可能性はある。	・除去または支柱の設置を検討する。
葉	・台風により萎凋している。	・自然回復を待つ。
	・オキナワイチモンジハムシ、ムツボシシロカミキリの食害痕が散見される。	・現時点で防除の必要はない。 ・経過観察を検討する。
備考	・コンクリート支柱を設置する際、妨げになる支柱根を切断したと思われる。	

